

△くまの議会だより

わしらの元気が 地域をつくる！



議の1年180匹議の
主な内容

- 補正予算審議
- ｽﾊﾞｲﾘ町政を問う！
- 活躍する地域団体

組葉を138本定植

花木を28本定植

きくら創立11年目

きくら平均年齢72歳

(特定非営利活動法人きくら会のみなさん)

第123号

2022.8.1

令和4年
6月定例会
熊野町議会
ふでらん



熊野町議会のホームページから、本会議の会議録や議会中継をご覧くださいませ。

発行 ● 熊野町議会 〒791-4292 広島県安芸郡熊野町中瀬一丁目1番1号 TEL(082)820-5630 FAX(082)855-4520
議会の情報は、熊野町ホームページから。 <https://www.town.kumano.hiroshima.jp> E-mail: gikai@town.kumano.lg.jp

編集 ● 議会広報特別委員会

6月定例会 こんなこと

令和4年度 一般会計補正予算(1号)を可決
2億7,906万円の増額 総額95億3,362万円に

注目補正事業をピックアップ!

新型コロナウイルスワクチン接種事業 2,688万円

4回目接種に係る追加費用を計上



▲新型コロナウイルスワクチン通知(4回目)

Q. 国産ワクチンノバックスの接種計画は。

A. 医療機関との連携により計画していく。

商工振興事業 1億168万円

コロナ禍、物価高騰のため、割引クーポン券を全世帯に発行する費用を計上



▲熊野町地域経済応援クーポン券【イメージ】

Q. 実施時期と利用期間は。

A. 9月下旬から3か月間を計画している。

保育所等運営事業 214万円

物価高騰の影響を受け給食を提供している保育施設に対する補助



▲くまの・みらい保育園

Q. 各施設に支給する額は。

A. 消費者物価指数を参考に、園児一人あたり月額上限330円を各施設に支給する。

文化財保護事業 386万円

熊野町文化財保存活用地域計画の作成に係る委託料などを計上



▲榊森神社

Q. 地域計画協議会の委員数と開催回数は。

A. 大学の教授等を含め委員の人数は10名以内として、年内3回程度会議を行い、実施方針や文化財の掘り起こし等行う。

(各ページの数値については表記単位未満を四捨五入しています)

が決まりました!

報告3件・議案7件の中から4件をピックアップ

DV被害者等の保護のため納税環境整備を行いました

固定資産課税台帳等にDV被害者等の住所が記載されている場合は、住所表記を変更するなど一定の措置を講ずることができるように改めた。



国民健康保険税の課税限度額が見直されました

国民健康保険税の基礎課税額(医療保険分)に係る課税限度額を、現行の63万円から65万円に、後期高齢者支援金等分に係る課税限度額を、現行の19万円から20万円に改めた。
※介護納付金課税額に係る課税限度額については改正はありません。

年度	医療保険分	後期高齢者支援金分	介護保険分	合計
令和3年度(現行)	63万円	19万円	17万円	99万円
令和4年度(改定後)	65万円(+2万円)	20万円(+1万円)	17万円(±0万円)	102万円(+3万円)

住宅ローン控除の特例が延長されました

所得税の特別控除の改正に合わせて、住民税についても適用期限が4年延長されました。

(現行) 令和3年12月31日までに入居した者が対象
(改正後) 令和7年12月31日までに入居した者が対象



大学教授や専門家などに支払われる報酬額の上限額が設けられました

町が設置する審議会等の委員報酬について、上限額を設定しその範囲内で、必要に応じて適正な報酬額の支払いを可能とした。

現在	5,700円/日
改正後	5,700円/日 (弁護士、大学の教授等の専門家には20,000円を上限)



ズバリ 市政を 問う!

タイトル：熊野東中学校3年 菊池 陽菜乃さん

一般質問とは?

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を質したり政策を提案することを一般質問といいます。
発言時間は答弁を含め、1人60分以内としています。

皆さんの「暮らし」にかかわることを、議員が質問をしました。

ページ	質問者	質問事項
5	水原 耕一 議員	1. 都市計画マスタープランの今後の進め方は 2. 民生委員のなり手不足と今後の支援体制は
6	中島 数宜 議員	1. 古文書等、歴史的資料の保存は 2. 農業後継者問題と荒廃化対策は
7	山野 千佳子 議員	1. 町内男性個室トイレにサンタリーボックスを 2. 投票所におけるデジタル化は
8	沖田 ゆかり 議員	1. アピアランスケアの取り組みを 2. 子どもの可能性を引き出す教育を
9	荒瀧 穂積 議員	1. JR矢野駅までの自動運転バスの導入を 2. 広島熊野有料道路事業の収支決算は
10	諏訪本 光 議員 尺田 耕平 議員	1. 熊野町のスポーツ活動の現状及び今後の方向は 1. 大人のひきこもり対策は
11	竹爪 憲吾 議員	1. コロナ禍における町民の健康状態の変化は 2. 国際交流事業の復活は
12	福垣内 邦治 議員	1. 小・中学生の町外派遣事業を進めてほしい 2. 庁舎内のDXは推進されているか、システム購入は適正か
13	片川 学 議員	1. コロナ禍での町民のスポーツ推進・健康増進、今後の課題は 2. 野焼きによる農業従事者と一般住民とのバランスは
14	光本 一也 議員	1. (仮)萩原城之堀線の新設整備と東部方面地域のまちづくり、町の考えは 2. 筆の里工房周辺整備事業、当初の計画から町民向けの施設に方向転換したのか

※ 紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。
また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。
なお、熊野町議会のホームページ (<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>) から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。



水原 耕一 議員

Q 都市計画マスタープランの今後の進め方は

A 町長

町民との連携・協働のもと持続可能なまちづくりを推進していく。

【Q2】 筆の里工房周辺から町役場周辺に「筆の軸」を配置するところがあるが、どのような計画か。

【A1】 デジタル技術を用いて災害リスクを分析し、安全な市街地へ居住誘導を行う計画である。既存のコミュニティを最大限生かし、まず防災教育を進め避難行動の徹底を進める。今後「防災指針」の中で具体的な取り組みの検討を行う。

【A2】 観光交流拠点整備構想計画と連携して、必要なインフラ整備の検討を行う。筆の里工房周辺事業においては、「Park+PFI」を活用し民間活力を生かした飲食サービスの出店等を考えている。

【Q3】 観光客が増えると筆の里工房周辺までの交通手段の確保も必要になってくる。考えは。

【A3】 筆の里工房周辺までは、最寄りのバス停から距離が遠く長年の課題である。現在は熊野営業所からタクシーを利用して行くよう案内しているが、今後来場者が増えれば新たな考えも必要となってくるので、調査研究していく。



▲民生委員あいさつ運動

Q 民生委員のなり手不足と今後の支援体制は

A 町長

負担軽減に向け活動しやすい環境づくりをしていく。

【Q3】 活動費の見直しも考え直さないといけない時期ではないか。

【A1】 民生委員を1期で辞任される方は何名程度おられるか。また、理由は。

【A2】 今年の改選では、今のところ1期で辞任される方は4人で理由は家族の介護と持病の悪化と聞いている。

【A3】 民生委員法第10条において原則無報酬と定められている。町からは、活動費として月額1万円支給しているが、無償のボランティアとして自覚をもって活動してもらっている。今後とも支援方法を探っていく。

【A4】 未来の地域福祉の充実のため、子ども達に民生委員の活動の大切さを教える必要があるのではないか。

【A2】 民生委員の活動を広く知ってもらい、もっと身近に感じられる工夫を考えていく。

【A3】 活動費の見直しも考え直さないといけない時期ではないか。

【A4】 校門前でのあいさつ運動等の活動を広く知ってもらえるよう、分かりやすい広報を行っていく。子どもや若者世代に着目し、関心をもち人を増やす取り組みを検討していく。



中島 数宜 議員

Q 古文書等、歴史的資料の保存は

A 町長

文化財の保存や、活用について計画策定を進める。

【Q1】 古文書や歴史的資料はその土地の先人達の歴史を物語る大切なものである。個人が将来にわたり、保管していくには限界がある。公的施設で保存ができないか。

【A1】 今後、2年間で文化財の保存や活用について町民の意見を反映しつつ計画策定を進める。

【Q2】 町内の各家庭には、歴史的資料を多数保管されている。発掘はどのように進めるか。

【A2】 文化財の保存と活用に関する計画を策定する中で古文書等、歴史的資料の掘り起こしとあり方について検討したいと考えている。

【Q3】 計画策定に向けた具体的なスケジュールは。

【A3】 令和4年度から住民参加のワークシヨップを実施し、地域に埋もれている文化財などの洗い出しや活用方法について協議を行う。

【Q4】 筆の里工房周辺整備事業で、保存可能な施設はできないか。

【A4】 現段階では想定していないが、保管の必要性や保管場所について研究を進めていく。



▶村絵図(約150年前)



山野 千佳子 議員

Q 町内男性個室トイレにサンタリーボックスを

A 町長

近年の状況に対応するため、設置について検討していきたい。

【Q1】 日本は世界トップクラスのがん大国だが、治療後の生活に必要な尿漏れパットを捨てる汚物入れが男性トイレにない。男性個室トイレに汚物入れを設置してはどうか。

【A1】 近年の前立腺がんや膀胱がん患者の増加に伴い、様々な尿漏れパット等が普及している。サンタリーボックスを必要とする人も見込める状況であるため、設置に向け検討したい。

【Q2】 町内何か所の男性個室トイレがあるのか。

【A2】 役場庁舎をはじめ、17施設に59か所の男性個室トイレがあり、多くの方が安心して利用できる公共施設の環境づくりをしていくためには、検討する必要があると考える。



▶ペーパーサンタリーボックス

【Q3】 小・中学校での保健の授業で、がんの予防、早期発見、早期治療、最新の治療法、末期がんの対応、がん検診の重要性やがん患者の体験談などを教えてはどうか。

【A3】 今採用している教科用図書にがんについての記載がある。小学生は6年生、中学生は3年生の保健の学習を中心にがん教育を実施している。

Q 農業後継者問題と荒廃化対策は

A 建設農林部長

消費地が近い立地的な優位性を生かした農業を推進する。

【Q1】 農家が減少傾向にある。過去10年間の農家世帯と荒廃地面積はどのように変化したか。

【A1】 平成22年と令和2年を比較すると、農家数は560戸から448戸に、経営耕地面積は96haから63haにそれぞれ減少し、農業の衰退と耕作されない農地が増えていると認識している。

【Q2】 荒廃地も進んでいる抑制対策は。

【A2】 町内の平均的な経営規模などから平成23年に全域を農地取得時の取得下減面積を3,000㎡から1,000㎡へ引き下げ、農地を譲りやすくした。また、水稲や野菜作りの基礎知識習得の勉強会をJA安芸と協働して、毎月1回開催している。



▲荒廃地

【Q3】 令和2年12月の議会で山林内をメッシュ柵で囲うイノシシ被害対策を要望したが進展しているか。

【A3】 他市町の事例でも対象農地一帯を囲い、完全にブロックできるような敷設方法をとることで一定の効果はある。対策を実現するには、地域が共同で取り組むことが不可欠であり、設置後の管理も含めた組織づくりも必要となる。

【Q4】 6次産業化の必要性は。

【A4】 今後の課題として研究をしていく。

Q 投票所におけるデジタル化は

A 総務部長

DXの推進により環境を整えば、デジタル化を進めたい。

【Q1】 昨年の秋の知事選挙で二重投票があったが、その原因と防止策はどう考えているか。

【A1】 現在、期日前投票において、氏名、生年月日、住所の住民情報を扱うシステムを使用し、選挙人名簿との照合を行っているが、投票所ではシステムが使用できない。

選挙事務従事者の事務説明会において、選挙人名簿の照合を徹底するよう再度注意を促すとともに、選挙事務の精査に努める。



▶投票箱

【Q2】 投票所において、システム使用により、ミスが防げると思うが設置は可能か。

【A2】 使用している選挙システムは、セキュリティの観点から物理的な方法のみアクセス可能であり、WiFiなどの無線通信では行えない。

現在、老人集会所4か所を投票所として使用しているが、有線環境の整備について、今は考えていない。

DX(デジタルトランスフォーメーション)とは:
進化したIT技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念のこと。



沖田 ゆかり 議員

Q アピランスケアの取り組みを

A 町長
がん患者と社会を繋ぐための重要な取り組みであると承知している。

【Q1】
抗がん剤の副作用による脱毛などの外見の変化による心理的、経済的な負担をやわらげ社会参加を応援する意味のアピランスケアのため、広島県では今年度より医療用ウィッグの購入費用の5割、上限5万円を助成している。ウィッグの価格は10万円程度であり、町独自の取り組みを実施し、補助率を上げることにより負担軽減できないか。

【A1】
他市町の動向を注視し、追加助成を検討する。

【Q2】
県の助成事業の町民への周知方法については町広報とホームページで発信されているが働く世代には届いていないと感じる。

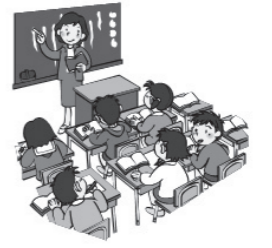
【A3】
乳がんは日本人女性の部位別のがん罹患数で全国1位であり9人に1人が乳がんと診断されている。結婚や出産、子育て、仕事など人生の基礎をつくる時期と治療が重なる乳がん患者への補助制度も検討できないか。



【A2】
熊野町の公式LINEで各分野の情報発信ができるよう整備中である。

Q 子どもの可能性を引き出す教育を

A 教育長
子どもを中核に据えた取り組みを進めていく。



【Q1】
小学校の1学級の児童数の上限を40人から35人へ引き下げる改正義務教育標準法が成立したが、35人学級に年度途中に転入生があった場合のクラス編制は。

【A1】
5月1日を基準日としているのでクラス編制はしないが、基準日以前に転入生があればクラス編制を見直す。

【Q2】
小学校5、6年生の教科担任制の課題として支援の必要な児童への十分な学力保障とあるが具体的には。

【A2】
担任の授業時数の軽減により授業のない時間を活用して宿題のチェックなど学習状況の把握に努めている。

【Q3】
高校入試に向けた自己表現への取り組みに

ついては。
【A3】
1分間スピーチやグループでの意見交換などで自分の考えを表現発表できるような取り組みを行っている。

【Q4】
物価高騰による影響で給食費が上がるのではないかと心配されている保護者の声を多数聞いている。給食提供事業者に支援補助事業を予算計上しているが、支援期間は。

【A4】
令和4年7月から令和5年3月まで。



▲学校給食



荒瀧 穂積 議員

Q JR矢野駅までの自動運転バスの導入を

A 町長
安全性や県市などとの協議が必要となる。自動運転の動向など注視する。

【Q1】
乗り物で観光客が呼べる。
11年前、町長と現職議員では8名が法政大学との連携で長野県小布施町を公式視察した。JR九州七ツ星列車デザインの水戸岡鋭治氏の個展も拝見、今では乗り物デザインの第一人者である。

自動運転バスを導入し、まちづくりの核として百年来の課題である。又、災害対応や観光客を呼び込む夢もかなう。
【A1】
現在実施中の県道バイパス整備を優先する。自動運転は未完成なレベルであり、県市などとの協議には課題がある。自動運転の動向は注視する。



Q 広島熊野有料道路事業の収支決算は

A 建設農林部長
令和3年6月、広島県議会建設委員会に報告されホームページで閲覧できる。

【Q1】
広島県道路公社による広島熊野有料道路事業は、令和2年12月法令により無料にした。有料期間30年を含め当事業の収支決算は。

【A1】
地方道路公社法により事業年度ごとの決算報告がされているが、広島熊野道路を抽出したものは無い。ただ、県議会建設委員会に事業終了年度の収支及び償還状況は示された。ホームページで閲覧できる。

【Q2】
今年度の県道矢野安浦線バイパス延伸予算はいくらか。
【A2】
県の当初予算として1億4,200万円が計上されている。



▶広島熊野トンネル

広島県道路公社が管理する有料道路の収支等の状況については、こちらのQRコードをご覧ください。





諏訪本 光 議員

熊野町のスポーツ活動の現状及び今後の方向は

町長

町民体育館等の指定管理者である「NPO法人熊野健康スポーツ振興会」と連携して振興を図っている。

〔Q1〕 「総合型地域スポーツクラブ（以下総合型クラブ）」の先進地である本町の活動は、その趣旨を満たしていない。「スポーツ推進委員」の活動にも課題があると考える。また、昨今話題の「運動部活動改革」への対応準備が必要だ。町当局の考えは。

〔A1〕 「ビーチボールバレー」等のように「総合型クラブ」の多世代、多志向の趣旨に沿った活動をしている。

〔A2〕 「スポーツ推進委員」は、総合型クラブである「筆の里スポーツクラブ」の活動の支援・協力をしながら共にスポーツ事業を推進している。

〔A3〕 「運動部活動改革」は国の動向を注視して検討したい。

〔Q2〕 「総合型クラブ」の趣旨に沿った活動は一部でしかない。その他の事業も含め、町の考え方や方針に沿った運営ができていくか。また、それはどのように伝えているか。

〔A2〕 NPO法人と月一回以上連絡調整会議を開催して、意思の疎通を図っている。

〔Q3〕 本日の提議した課題等を踏まえ、基本となる「熊野町スポーツ振興計画」を早急に策定すべきではないか。策定予定から10年以上が経過している。

〔A3〕 本年度末を目処に策定したい。

大人のひきこもり対策は

町長

ますます拡大していく問題として認識しており、町としてしっかり対策をとっていく。



尺田 耕平 議員

〔Q1〕 厚生労働省のひきこもり支援事業では、平成30年度より市町村においてひきこもりサポート事業として、ひきこもり支援基盤を構築し、社会参加に向けた支援を図るため、相談窓口の周知や実態把握、居場所づくり、ひきこもりサポーターの派遣等を行っているところがあるが、実施状況は。

〔A1〕 実態把握については、相談があったもの以外の把握は難しい。地域包括支援センター、民生委員など関係機関と連携し把握に努める。

〔Q2〕 住民に対し気軽に相談できるよう「ひきこもり相談窓口」を明確化し、広く周知しても

〔A2〕 国は市町村に対し、ひきこもり相談窓口の明確化・周知に取り組むよう求めている。まだまだ十分ではないので、町ホームページ・町広報への折り込みチラシ等で周知し、案内板を掲げるなどの工夫を明確化に努める。

〔Q3〕 8050問題・9060問題は本町でも耳にするが対応は。

〔A3〕 手遅れになる前に、家族などの理解や協力が必要であり、関係機関と連携を取りながら支援を行っていく。



竹爪 憲吾 議員

コロナ禍における町民の健康状態の変化は

町長

健診は受診率が低下、フレイルや要介護状態を引き起こすことも危惧される。

〔Q1〕 コロナ禍での健康診断等の受診率の変化は。

〔A1〕 集団健診の中止や健診控えにより、受診率は低下した。

〔Q2〕 健康診断の受診を促す取り組みはされたか。

〔A2〕 幅広い世代の基本健診、がん検診を医療機関で受診できる体制を整えた。

〔Q3〕 介護状況の変化は。

〔A3〕 介護サービス利用状況は、通所介護等外出を伴うサービス利用は減少、訪問介護等は利用が増加している。

〔Q4〕 介護認定される以前の高齢者の状況は。

〔A4〕 定期的な運動機能の調査を行っている方のデータでは、様々な項目で機能が低下している、フレイル、要介護状態になるリスクが高くなっている。



〔Q5〕 リスクの増加を解消するための取り組みは。

〔A5〕 町主催事業やシルバリーハビリ体操指導士の活動を通じて、各教室、講座、大会を開催し、社会参加に重点を置いて、様々な事業を展開する。

国際交流事業の復活は

町長

今後の状況を見定めつつ、交流事業の再開及び新たな友好提携の研究を進める。

〔Q1〕 国際的な友好提携の見込みは。

〔A1〕 平成5年から中国四川省内江市との交流を図っていたが、コロナ禍の現在は具体的な交流は行われていない。

〔Q2〕 インターナショナル人材育成事業の再開は。

〔A2〕 財政状況、事業の優先度などを考慮しながら慎重に検討したい。

〔Q3〕 英語圏との交流も必要ではないか。

〔A3〕 インターナショナルな人材を育成するために効果的な国や地域等、他の自治体等の取組状況を参考にし、財政状況も踏まえながら研究

〔Q4〕 海外の都市との友好交流を考えるにあたり、学校間での相互派遣も考えてもらいたいと思うか。

〔A4〕 学校間交流のように実体験により広い視野を持った生徒等の育成を図りたいと考える。

〔Q5〕 人材派遣事業を進める補助金はないか。

〔A5〕 有効に活用できるものがないか研究したい。

〔Q6〕 教育長の考えは。

〔A6〕 グローバルな社会を生きる児童生徒の未来にとって大変有意義。





福垣内 邦治 議員

Q 小・中学生の町外派遣事業を進めてほしい

A 町長

教育委員会とも連携して、協議検討していきたい。

- 【Q1】 友好都市、三重県熊野市との交流の中で何ができることは。
【A1】 熊野市の「オール熊野フェスタ」等の「イベント」への相互出店などで、小・中学生を親善大使とした相互派遣を検討したい。
- 【Q2】 教育委員会では小中学生の交流等についてどのように考えているか。
【A2】 ICT機器を活用してインターネットを通じてオンラインでの交流も研究していきたいと考えている。
- 【Q3】 今後の各地域への訪問として考えられるものはないか。
【A3】 東京都豊島区との芸術文化交流を進めていく中で小・中学生の相互派遣等について協議を行っていきたい。



▲豊島区・熊野町ソメイヨシノ記念植樹(坂面大池周辺に植樹しました)

Q 庁舎内のDXは推進されているか、システム購入は適正か

A 町長

職員は基本的な技術・知識を持ち合わせている。システム購入の際は適切で過不足のない整備に努めている。

- 【Q1】 町職員の使用しているパソコンの状況・状態は。
【A1】 庁舎内での業務で必要となる基本的なソフトウェアはすべてパソコンに導入している。また、マイナンバーを含む個人情報を取り扱う「基幹系システム」はネットワークから断し、担当職員のみアクセスできるように制限をかけている。
- 【Q2】 パソコン機器の購入やシステムの導入は適切に行われているか。
【A2】 外部の専門家「ITコーディネーター」の専門的な知識に基づいて妥当性を評価いただいている。
- 【Q3】 役場職員にも積極的にデジタル人材の採用を進めてほしい。
【A3】 専門人材はいない。デジタル技術に精通した職員、人材を育成できるように、指導体制を整えていきたい。
- 【Q4】 「行政手続きオンライン化」で住民の利便性はどのように変わるのか。
【A4】 「役場に行かなくてもよい」「待たなくてよい」「書かなくてもよい」「行かない」「待たない」「書かない」の窓口)などの、住民サービスの向上、業務効率化が同時に実現できるものと考えている。

※7ページにDXの説明記事があります。



片川 学 議員

Q コロナ禍での町民のスポーツ推進・健康増進、今後の課題は

A 教育長

環境整備も含めNPO法人熊野健康スポーツ振興会等と検討していく。

- 【Q1】 社会体育の取り組みについて問う。
【A1】 施設利用者の把握、体調管理・消毒等に対応している。
- 【Q2】 学校教育現場ではどうか。
【A2】 三密を避け、手洗い・消毒・集団編成時における少グループ化、行事時間短縮により対応している。
- 【Q3】 児童・生徒の熱中症対策としてミストの設置を提案する。
【A3】 設置済みの学校もあるが、全校設置に向けて前向きに検討したい。
- 【Q4】 町民体育館進入路横の遊具撤去後の土地に、スケートボード、ローラースケート等利用のミニスケートパークの整備を提案する。
【A4】 あらゆるスポーツの発展に寄与できる視点を持ち、スポーツ人口の増加・交流人口に繋がるよう研究していく。
- 【Q5】 グラウンドゴルフ場建設予定地は災害後、避難道路が通ったため土地が分断された。町有地有効活用のため、熊野テニス連盟より幾度も体育協会に陳情いただいているテニスコートの整備を。一時避難場所にもなるが。
【A5】 復興に向け動きがある中で、どのように整備していくのか大きな課題であるが、財政的な面も含め検討したい。

Q 野焼きによる農業従事者と一般住民とのバランスは

A 町長

農業従事者には野焼き方法の工夫を。近隣住民には野焼きは違法でないと説明。



- 【Q1】 野焼きについて、農業従事者が高齢化する中、負担になっている草刈り、処理の課題は。
【A1】 草刈りの焼却は、近所迷惑にならないよう焼却方法の工夫を、近隣住民には違法な野焼きでないことを丁寧に説明し、理解を得られるよう対応している。
- 【Q2】 以前質問した時と答弁に変化がないが、農業従事者は特に草の処理に困っている。町として何らかの施策を努力できないか、放送を聞いても何の周知、解決策にもなっていないか。
【A2】 草刈の必要性、草を刈っても焼かず、休耕田に敷き込むなど水田用の除草剤で草を生やさない方法もあると周知している。
- 【Q3】 農業振興と定住促進は大事な課題である。コミュニティづくりが問題であるため、行政として、各自自治会へ投げかけていけばコミュニティで解決されることではないか。
【A3】 自治会を通すなど双方が、お互いに納得できるような話し合いのうえで、何とかできないかと思う。
- 【Q4】 何年間か試験的に、春先から秋までの時期に、トラック廻し・バッテリー箱設置等、収集はできないか。
【A4】 収集場所まで出す労力が高齢者には難しい面があるので、検討が必要と思う。



光本 一也 議員

Q (仮)萩原城之堀線の新設整備と東部方面地域のまちづくり、町の考えは

A 町長

町にとって有益であると認識している。今後、財源確保を含めて研究していきたい。

【Q1】 県道矢野安浦線熊野バイパス(出来庭・萩原工区)の進捗状況と今後の計画は。

【A1】 今年度、測量と詳細設計を進めており、年度内に地元説明会を行うと聞いている。今後は土地所有者への境界確認、土地の面積測量や建物等の物件調査、補償の説明、用地取得、工事着手へと進める。

【Q2】 熊野町都市計画マスタープランにおける(仮)萩原城之堀線の位置づけは。

【A2】 県道矢野安浦線バイパスから城之堀・萩原方面へのアクセス機能と共に、町内幹線道路網の一部に位置づけている。バイパス結節点から阿戸別れ交差点までの町道萩原線に続き、萩原から城之堀方面の

南北方向の軸として位置づけている。

【Q3】 東部地域(城之堀・萩原・初神・新宮)のまちづくりを推進していくには、都市計画マスタープランに位置づけている(仮)萩原城之堀線の新設整備と城之堀5・6・10丁目、萩原8丁目の住居共生地区の早期整備が必要と考えるが、町の考えは。

【A3】 新設の道路計画では、用地取得への協力、関係住民の事業への理解と協力が不可欠である。また、事業実施には多大な予算と長い期間を要する。都市計画マスタープランの高度化版となる立地適正化計画において研究する。

Q 筆の里工房周辺整備事業、当初の計画から町民向けの施設に方向転換したのか

A 町長

熊野の魅力を高め、国内外からの観光客を呼び込む当初からの方向性は変えていない。



▲整備予定地から筆の里工房を臨む

【Q1】 事業目的、全体事業費の額は。

【A1】 町民が憩い、集える、町民のための場所、持続可能なまちづくりの拠点として整備。事業費は13億6千万円。

【Q2】 集客目標人数は基本実施設計業務を行う中で考えるとのことだが、設計前に設定し、プロポーザルで提案を求めべきではないか。

【A2】 利潤を追求する商業施設でないため、先に目標人数を示すことは考えていない。

【Q3】 完成までのスケジュールは。

【A3】 本年10月から令和5年9月にかけて体験交流施設の基本実施設計、令和6年から体験交流

施設を整備、その後調整池、駐車場、北側の公園を整備し、令和10年度完成の予定。

【Q4】 オープン後の運営について、民間の資金とノウハウを活用する「Park+PFI」の手法を取り入れてはどうか。

【A4】 公園内の体験交流施設内の飲食機能部分に導入を検討する。

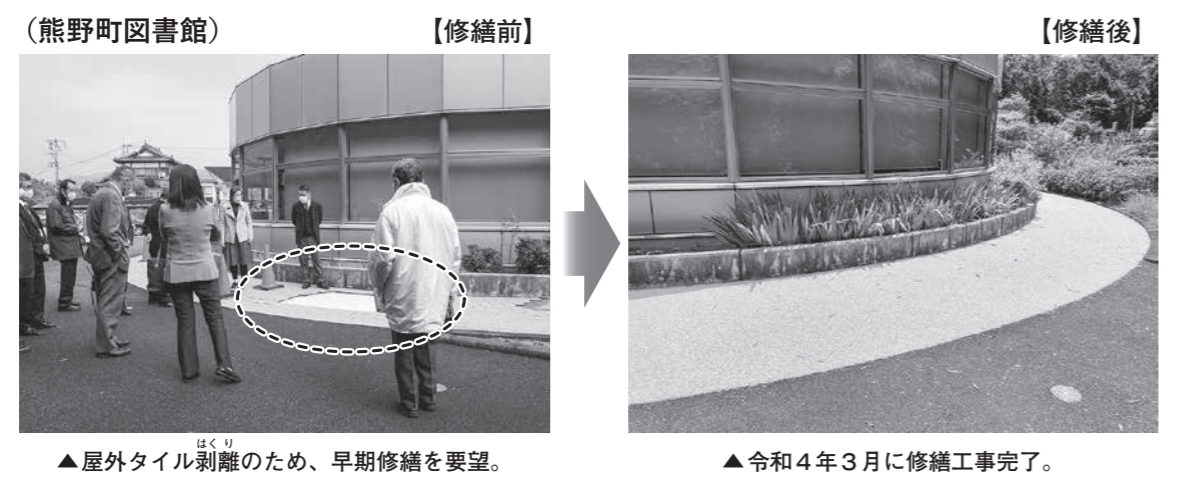
【Q5】 文化芸術アドバイザの役割と構成員は。

【A5】 本町の文化芸術のまちづくり応援大使で画家の野村重存氏のほか、芸術系大学の教授、広島県観光連盟の方など5名程度を考えている。

町内社会教育施設を点検

文教委員会

昨年12月に引き続き6月17日に、3つの社会教育施設の視察をしました。町民会館(熊野中央防災交流センター)、熊野東防災交流センター、熊野西防災交流センターを調査点検しました。各施設とも町民の安心安全のため、適切に維持管理を行っていくよう要望しました。



▲屋外タイル剥離のため、早期修繕を要望。

▲令和4年3月に修繕工事完了。



▲雨漏りによる床材劣化のため早期防水工事を要望。(ふでりんホール楽屋入口通路付近)

▲雨漏りによる内壁の剥離を確認し対策を要望。

あとがき

3月、6月、9月、12月の定例議会後に発行する『くまの議会だより』。予算、条例等の議案審議、一般質問の内容などを掲載しています。若い方にも読んでいただけよう、編集にあたっては写真やイラスト等でわかりやすく親しみやすい紙面づくりを目指していますが、ページ数の制約や各議員の思い入れなどから文字が多くなりがちで、堅苦しい内容になっていると反省しきりです。詳しい内容はインターネット中継(録画)や会議録でも確認できます。ご意見をお寄せください。

光本 一也

次の定例会は 9月13日 (火曜日) 開会を予定しています 議会だより題字 小田原正龍さん



▲年末のしめ縄づくり



活力ある東部地域をめざして！ ～特定非営利活動法人きらら会～



▲人気の手作り遊具

Q 活動内容を詳しく教えてください。

A まずは施設の美観づくりです。来園される方が気持ちよく過ごしていただけるよう、気配りの行き届いた快適な景観づく

Q きらら会の紹介をお願いします。

A 私たちの会は、施設がオープンした2008年に特定非営利活動法人として活動を開始しました。会員は、現在38人（男性20人、女性18人）で頑張っています。

Q 今後の活動についてお話を伺いました。

A 春には桜や芝桜、つつじ。5月には沢山の鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。熊野東ふれあい館（旧熊野町東部地域健康センター）と深原地区公園の風景です。

Q 今後の活動についてお話を伺いました。

A 春には桜や芝桜、つつじ。5月には沢山の鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。熊野東ふれあい館（旧熊野町東部地域健康センター）と深原地区公園の風景です。

Q 今後の活動についてお話を伺いました。

A 春には桜や芝桜、つつじ。5月には沢山の鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。熊野東ふれあい館（旧熊野町東部地域健康センター）と深原地区公園の風景です。

Q 今後の活動についてお話を伺いました。

A 春には桜や芝桜、つつじ。5月には沢山の鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。熊野東ふれあい館（旧熊野町東部地域健康センター）と深原地区公園の風景です。

Q 今後の活動についてお話を伺いました。

A 春には桜や芝桜、つつじ。5月には沢山の鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。熊野東ふれあい館（旧熊野町東部地域健康センター）と深原地区公園の風景です。



▲フードフェスタではハロウィン大会に多くの参加者が

Q 今後の活動についてお話を伺いました。

A 春には桜や芝桜、つつじ。5月には沢山の鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。熊野東ふれあい館（旧熊野町東部地域健康センター）と深原地区公園の風景です。

Q 今後の活動についてお話を伺いました。

A 春には桜や芝桜、つつじ。5月には沢山の鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。熊野東ふれあい館（旧熊野町東部地域健康センター）と深原地区公園の風景です。

Q 今後の活動についてお話を伺いました。

A 春には桜や芝桜、つつじ。5月には沢山の鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。熊野東ふれあい館（旧熊野町東部地域健康センター）と深原地区公園の風景です。

Q 今後の活動についてお話を伺いました。

A 春には桜や芝桜、つつじ。5月には沢山の鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。熊野東ふれあい館（旧熊野町東部地域健康センター）と深原地区公園の風景です。

Q 今後の活動についてお話を伺いました。

A 春には桜や芝桜、つつじ。5月には沢山の鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。熊野東ふれあい館（旧熊野町東部地域健康センター）と深原地区公園の風景です。

Q 課題や悩みごとなどありますか。

A 会員の平均年齢が74歳と高齢化が進んでいます。後継者づくりも課題です。若い人の参加を待っています。女性も大歓迎です。

Q 課題や悩みごとなどありますか。

A 会員の平均年齢が74歳と高齢化が進んでいます。後継者づくりも課題です。若い人の参加を待っています。女性も大歓迎です。

Q 課題や悩みごとなどありますか。

A 会員の平均年齢が74歳と高齢化が進んでいます。後継者づくりも課題です。若い人の参加を待っています。女性も大歓迎です。

Q 課題や悩みごとなどありますか。

A 会員の平均年齢が74歳と高齢化が進んでいます。後継者づくりも課題です。若い人の参加を待っています。女性も大歓迎です。

Q 課題や悩みごとなどありますか。

A 会員の平均年齢が74歳と高齢化が進んでいます。後継者づくりも課題です。若い人の参加を待っています。女性も大歓迎です。



▲特産品化をめざし丹波種黒豆の作付に励む



取材 中島数宜
光本一也

Q 今後の活動などを教えてください。

A 4月から憩いと語らいの場「きららサロン」を開設しました。おいしいコーヒールを入れてお待ちしています。

Q 今後の活動などを教えてください。

A 4月から憩いと語らいの場「きららサロン」を開設しました。おいしいコーヒールを入れてお待ちしています。

Q 今後の活動などを教えてください。

A 4月から憩いと語らいの場「きららサロン」を開設しました。おいしいコーヒールを入れてお待ちしています。

Q 今後の活動などを教えてください。

A 4月から憩いと語らいの場「きららサロン」を開設しました。おいしいコーヒールを入れてお待ちしています。

Q 今後の活動などを教えてください。

A 4月から憩いと語らいの場「きららサロン」を開設しました。おいしいコーヒールを入れてお待ちしています。

Q 今後の活動などを教えてください。

A 4月から憩いと語らいの場「きららサロン」を開設しました。おいしいコーヒールを入れてお待ちしています。

Q 今後の活動などを教えてください。

A 4月から憩いと語らいの場「きららサロン」を開設しました。おいしいコーヒールを入れてお待ちしています。